

3 大森学区連絡協議会（守山区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施報告書

1 団体名	大森学区連絡協議会
2 事業名	大森地区特殊詐欺被害撲滅事業
3 事業実施結果	<p>大森学区は、名古屋市の北東部にある守山区内に位置し、東は尾張旭市に接し、南は矢田川が流れ、西は国道 302 号線、北は金城学院大学のある台地に囲まれています。</p> <p>大森の歴史は古く、江戸時代には大森村として農業中心の集落を母体としていました。今年NHKドラマ「どうする家康」が始まりましたが、徳川家ゆかりの歴史ある街です。1584 年の小牧・長久手の戦いでは、西隣にあった小幡城を中継とし大森村を通過した記録があります。また、徳川家康の九男義直が、狩りに行く途中大森村に差しかかった時、庭先に一人、臼で麦をついていた百姓の娘、後の「歓喜院乾の方」を見染めた村です。乾の方の墓は、江戸小石川の伝通院に有りましたがその後、大森村の大森寺に移されました。現在も徳川家ゆかりの寺として残っております。</p> <p>昭和 41 年区画整理事業が始まるまでは農村地帯でしたが、徐々に名古屋市のベッドタウンとして急速に発展し、閑静な住宅街へと変わりました。現在人口は 8,472 人、うち高齢者(65 歳以上)が 2,363 人と年々増加傾向にあります。</p> <p>そこで、高齢者を狙った特殊詐欺事件が全国的に多発していることから、一人でも多くの人々が被害に遭わないように、家族、地域ぐるみで「特殊詐欺被害撲滅運動」を企画し提案した次第です。</p>

1. 実施に際しての準備

現在も、コロナウイルス感染症の拡大が続いており、特に多くの高齢者の方に集まっていただく事が困難であるが、個々に配布や見える形にすれば気づく事が出来るのではないかと思ひ。「特殊詐欺にご注意」と書かれたのぼり旗、振込詐欺の手口が印刷された「ポケットティッシュ」、犯人は、まず電話を掛けてくることから、電話が鳴り、受話器を取ると注意喚起のメッセージが流れる「サギバスター」、以前から警察で発信されている「パトネットあいち」の犯罪情報を町内に回覧板で回すことなどを決定した。

決定にあたって、守山警察署生活安全課へ特殊詐欺被害撲滅運動を実行すること、のぼり旗やポケットティッシュに「守山警察署・大森学区連絡協議会」と連名での名入れ等の協力依頼をした結果、了解が得られた。了解が得られたことから、早速事業に必要な商品を注文した。



注文したのぼり旗

サギバスター

ポケットティッシュ

上記は、注文したのぼり旗 40 枚、サギバスター 250 個、ポケットティッシュ 5,000 個を撮影したもの。

2. のぼり旗の掲出依頼並びに掲出

のぼり旗は、注意喚起の意味合いを含め多くの方が目に留まる場所や特殊詐欺犯人から誘導されるキャッシュカード取扱機械が設置されている場所に設置することとした。

掲出箇所は、自治会役員宅、町内会長宅、大森会館、愛知銀行大森支店、瀬戸信用金庫大森支店、大森郵便局、セブンイレブン名古屋大森一丁目店、セブンイレブン名古屋八剣支店、ローソン守山警察署北店、ファミリーマート大森駅北店、ファミリーマート守山大森店に依頼をした。



上記は町内会長宅に依頼したのぼり旗を撮影したもの。



上記は町内会長宅等に依頼したのぼり旗を撮影したもの。



大森会館

大森会館

瀬戸信用金庫大森支店



瀬戸信用金庫大森支店

名古屋大森郵便局

名古屋大森郵便局



名古屋大森郵便局 セブンイレブン名古屋大森一丁目店 ファミリーマート守山大森店

3. サギバスターの配布並びに取り付け依頼

受話器などに張り付けられたサギバスターは、電話が鳴り受話器を取ると「お金の話、カードの話は詐欺です」とメッセージが流れ詐欺を意識から警戒させるもので、これを日頃から見守り活動を実施している、民生委員や老人会役員に、特殊詐欺被害に遭う恐れのある独居老人宅や高齢者宅へ訪問して、配布並びに取り付けを依頼した。



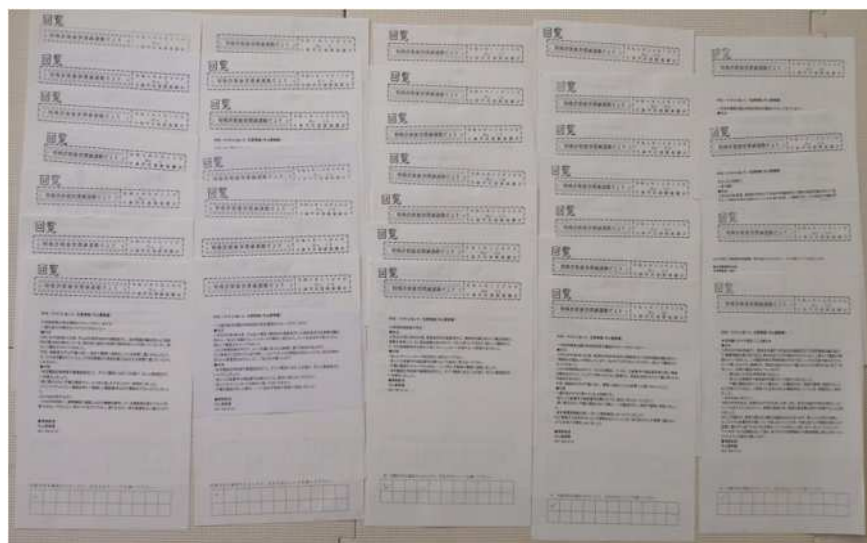
民生委員に対してサギバスターと取扱要領を説明している状況を撮影したもの。

4. 特殊詐欺被害撲滅運動実施と特所詐欺被害撲滅運動だよりの発行

(1) 地域の方に8月20日から12月28日までの間特殊詐欺被害撲滅運動実施についての回覧板を作成し運動内容を知らせた。

- ①家族・地域ぐるみで運動を展開する。振り込め詐欺や特殊詐欺は高齢者が狙われやすい傾向に有ることを伝え、身近にいる家族や地域の人達が日々の暮らしの中で被害防止の啓発活動を勧める。
- ②被害発生状況を他山の石として、現在どのような手口が発生しているか等を回覧板で知らせ注意喚起活動をする。
- ③高齢者宅に個別訪問を実施して被害防止を図る。
- ④のぼり旗を立て、手口や啓発文が書かれたティッシュを配る
- ⑤一人住まいの高齢者宅へ、迷惑電話撃退グッズを配布する。
- ⑥青パトで、詐欺被害防止のテープを流し、広報する。

(2) 特殊詐欺被害撲滅運動だよりは、パトネットあいちで犯罪情報がメールで配信された内容をコピーし8月25日No. 1から12月28日No. 32まで作成し地域に発出して回覧した。



5. 各種会議や講座にける特殊詐欺被害撲滅運動についての広報活動。

(1) 9月10日、10月15日、11月12日、12月10日の定例会において、回覧している特殊詐欺被害撲滅運動だよりを活用し、地域住民に対して被害状況や犯人の手口等を伝え、被害防止に繰り返し広報等をするように依頼した。



定例会議で推進状況の説明等をしている状況を撮影したもの

(2) 防犯安全ボランティア「子ども安全パトロール隊」会議



子ども安全パトロール隊会議において、守山警察署生活安全課清野部長から特殊詐欺犯罪発生状況や注意点等についても話された状況を撮影したもの。

(3) スマホ教室参加者に対して特殊詐欺被害防止対策等について広報した。

大森学区では、名古屋市スポーツ市民局地域振興部地域振興課主催のスマホ教室を昨年から続けており、今回も10月20日マイナンバー登録講座、12月5日ラインの楽しみ方、12月マイナポイント申請講座等を開催した後、特殊詐欺被害防止について、犯人の手口や対策等を教示した。この際、振り込め詐欺、特殊詐欺について注意喚起が印刷されたポケットティッシュを配布した。



スマホ教室の開催状況を撮影したもの。

6. 自治会行事における特殊詐欺被害撲滅運動時の啓発活動

(1) 町内対抗ソフトボール大会での啓発活動



9月25日に町内対抗ソフトボール大会が実施されテントの脇にのぼり旗を立て、あいさつ時に、特殊詐欺被害撲滅運動について啓発活動した。

(2) 自然散策での啓発活動（志段味古墳群ミュージアム見学）

11月3日学区の年間行事の一つで、毎年家族ぐるみで自然散策をして親睦を深めている行事。あいさつ時に「特殊詐欺にご注意」と印刷されたのぼり旗を立て、参加者に家族が詐欺被害に遭わないように啓発し、ポケットティッシュを配布した。

(3) 学区合同防災訓練での啓発活動

11月27日毎年、学区合同防災訓練を大森中学校体育館で実施した際、訓練終了時に「現在学区内では、特殊詐欺被害撲滅運動中で家族ぐるみで被害防止等について話し合うこと」等を啓発するとともにサギバスターの効果等について教示した。



学区合同防災訓練で特殊詐欺被害防止について説明している状況を撮影したもの

7. その他の行事や地域の祭礼等に於いての広報、啓発活動

(1) 10月20日コミセン祭りで啓発活動

学区では、毎年コミニティーセンターで習い事等に利用されている人達の発表や作品展を開催している。



コミセン祭りに来場した人に対して、特殊詐欺の手口が印刷されたポケットティッシュを配布し被害防止の啓発活動状況を撮影したもの。

(2) 10月16日大森学区内八剣神社秋季例大祭での広報活動

例年は、厄歳者が餅を投げて厄払いの一つとしている行事が行われている。今年は、コロナ禍でもあり餅投げは中止となり、配布する話を聞き、祭りには高齢者も多く集まることから、のぼり旗を持ち、ポケットティッシュ500個用意して特殊詐欺被害撲滅の広報活動をしながら配布した。



ポケットティッシュを配布している状況を撮影したもの。

(3) 元気祭りでの啓発活動

12月4日地域商工会主催の元気祭りが学区内大森四丁目白晴公園で開催された。会場は、抽選会や飲食の店もあり、毎年多くの人が集まることから、特殊詐欺被害撲滅運動ののぼり旗とポケットティッシュを配りながら啓発活動を実施した。



白晴公園内でのぼり旗を持ち、ポケットティッシュを配布している状況を撮影したもの。

8. 青パトで防犯広報と同時に特殊詐欺被害防止の広報を実施。

青パト隊員は23名の隊員によって、9月は、毎週木曜日、10月は、毎週月曜日、11月は、毎週木曜日、12月は、毎週月曜日に2名1組で地域を回りながら防犯広報しているが、今回は、守山警察署防犯少年団が特殊詐欺被害防止の内容で作成されたテープを生活安全課から頂き、広報を実施した。

9. 守山警察署と合同で歳末警戒を実施

12月1日守山警察署職員とともに学区内を歳末警戒した。その際、今回は、特殊詐欺被害撲滅運を行っていることから「特殊詐欺にご注意」と印刷されたのぼり旗を持って実施した。





守山警察職員と自治会員合同で「特殊詐欺にご注意」と印刷されたのぼり旗や赤色灯を持って歳末警戒を実施した状況を撮影したもの。

4 成果と課題及び今後の取り組み

(1) 事業実施の成果及び課題

地域自主防犯活動活発化促進事業の大森地区特殊詐欺被害撲滅事業を終えて期間中に被害の発生が無かった事で成果を感じた。

地域の方が「特殊詐欺にご注意」と書かれたのぼり旗や詐欺手口が印刷されたポケットティッシュを全戸配布した詐欺手口や回覧板で回した「特殊詐欺被害撲滅運動だより」を読まれて防犯意識が向上したものと思われる。

また青パトの音声、特に防犯少年団の子どもたちの声で繰り返し耳にすることも、防犯意識の高まりが出て成果が出たと思う。

(2) 課題

高齢者の中にはまだ「私は騙されない、大丈夫」等と話される人が多いことから、実際に被害に遭った人がどのように騙されたのか等の事例を他山の石でなく自分の事としてとらえてもらえるように友達や家族、親戚、地域の方が助言、被害者の新聞記事を利用して繰り返し説明を実施する事が必要ではないかと思う。

(3) 今後の取り組み

この種の犯罪手口は、海外のサーバーを使用して電話を架けていることから、なかなか犯人にはたどり着かない話も聞いている。

それならば、まず犯人から狙われている高齢者の方に今回特殊詐欺被害撲滅事業で実施した事に加えてさらに他の方法は無いか試行錯誤しながら、家族や地域が防波堤になれるよう、対策を進化させてゆきたい。